

平成 27 年 9 月 29 日

第 3 回 愛西市立小中学校適正規模等検討協議会
会議録

第3回愛西市立小中学校適正規模等検討協議会 会議録

開会日時 平成27年9月29日(火) 午前10時00分
閉会日時 平成27年9月29日(火) 午前11時30分
場 所 愛西市役所八開庁舎 第1会議室

- 出席委員
- | | |
|-----|--------|
| 会長 | 伊藤 勝康 |
| 副会長 | 千賀 浩司 |
| 委員 | 水谷 朋和 |
| 委員 | 原田 大栄 |
| 委員 | 森 智恵美 |
| 委員 | 服部 英生 |
| 委員 | 田中 智治 |
| 委員 | 宇野 明美 |
| 委員 | 中野 義治 |
| 委員 | 水谷 瀧男 |
| 委員 | 伊藤 尚美 |
| 委員 | 佐藤 有見子 |
| 委員 | 三輪 義治 |
| 委員 | 渡邊 佳子 |
| 委員 | 猪飼 常雄 |
| 委員 | 五島 直和 |
| 委員 | 中田 貴士 |
- 欠席委員
- | | |
|-----|-------|
| 副会長 | 伊藤 正憲 |
|-----|-------|
- 事務局
- | | |
|-----------|-------|
| 教育長 | 加藤 良邦 |
| 教育部長 | 石黒 貞明 |
| 教育部次長 | 神田 直也 |
| 学校教育課長 | 田中 亮長 |
| 学校教育課課長補佐 | 森田 圭一 |
| 学校教育課主事 | 伊藤 公亮 |
- 傍聴者
- | | |
|----|--|
| なし | |
|----|--|

■ 次第

1. 開会
2. あいさつ
3. 議題
 - (1) 地域懇談会について
 - (2) 小中学校適正規模・配置等に向けて
 - (3) 次回（第4回）協議会開催について
 - (4) その他、意見交換
4. 閉会

【事務局】	<p>只今から第3回愛西市立小中学校適正規模等検討協議会を始めます。</p> <p>本日は、傍聴人はございません。また、伊藤正憲委員より欠席の連絡がありましたので報告させていただきます。</p> <p>はじめに会長の伊藤勝康様より挨拶をいただきます。</p>
【会長】	(会長挨拶)
【事務局】	<p>次に、「3. 議題」でございます。ここからの議事進行は、伊藤会長にお願いします。</p>
【会長】	<p>では、次第に基づきまして議事を進行していきます。</p> <p>なお、本日の議事録署名者は、田中智治様と宇野明美様にお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>(1) 地域懇談会について事務局に説明してもらいます。</p>
【事務局】	<p>本日の配布資料の中から資料1、資料3、資料4、資料5及び6、「アンケート用紙」を考えております。なお、本日の資料2は時期を変更する可能性が高いため配布しない方向です。スケジュールにおいて質問があった場合は、時期を明言せずに口頭で説明したいと思っております。また、「アンケート用紙」に関してご意見がございましたらお伺いいたします。</p>
【会長】	<p>事務局からご提案がありました。</p> <p>ここでお諮りしたいのは、説明を進めるうえで、「特に重点を置く項目」や「重点を置く内容」についてです。</p>
【委員】	<p>資料3と4ですが、数字だけでなく、グラフ化などをすれば参加者がイメージを掴みやすいと思います。</p>
【委員】	<p>資料2のスケジュールの中で、平成27年7月に「愛西市の小中学校適正規模等基本計画を策定するため提案」とありますが、これは基本方針をイメージしているのでしょうか。</p>
【事務局】	<p>資料のグラフ化に関しては、できるだけわかりやすい資料を提供するために改善をしていきたいと思っております。</p> <p>また、資料2の「愛西市の小中学校適正規模等基本計画を策定するため提案」についてですが、これは基本方針の内容を提案すると捉えています。</p>

【委員】	1点目の表の数字に関してですが、「児童数」「学級数」を縦に並べて示した方が推移が捉えやすいと思います。
【会長】	地域懇談会で示す資料としては、学校の学級数・児童数が減っていく、入学する人数が減っていく、という問題を伝えることを意図しているものですので、問題となる部分に注目しやすい資料作成をしていただけるとありがたいと思います。
【委員】	説明の方法ですが、資料を配布してそれを見ながら説明するというのでしょうか。希望としてはパワーポイントなど視覚に訴える方法だと、説明もしやすく、伝わりやすいのではないかと思います。
【事務局】	事務局としても、視覚に訴える方法をとりたいと思いますので、努力をさせていただきますが、機材の調達の間もありますので、検討させていただきます。
【会長】	次に、地域懇談会のアンケートを準備していただきましたが、これにつきましてご意見などございますか。
【委員】	質問の中で、愛西市全体の事を聞くより、住んでいる地域について質問した方が答えやすいのではないかと思います。
【委員】	私はこのままで良いと思います。それは、基本方針の説明で小規模・大規模の利点と課題を説明するので、それを踏まえて、自分たちはどのようなかたちが良いのか意見を求めるのが良いからです。地域限定ですと自分たちの地域は問題ないと考えてしまう可能性があります。
【会長】	アンケートを答えるにあたって、「現在の愛西市」について質問すれば自分たちの地域だけではなく、市全体という意識を持ってもらえるのではないかと思います。ご意見ありますでしょうか。
【委員】	地域をしぼらないとアンケートを分析するにあたって統計が取りにくいのではないかと思います。
【委員】	4地区ではなく、中学校区ぐらいに分けたらどうでしょう。例えば、同じ佐屋地区でも佐屋中学区と永和中学区では規模も違うので、意見も変わってくると思います。

<p>【会長】</p>	<p>基本計画の素案を教育委員会へ答申する際は、より具体的な意見が必要になると思います。今後このアンケート結果を活用するのであるなら、より具体的な場所の面などを探れるようなものが必要かもしれません。その点では中学校区で進めるのも一つの手かと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>多数の委員からうなずきを得ましたので、アンケートには中学校区を選択するものを入れてもらうことにさせていただきます。</p> <p>次に「愛西市立小中学校適正規模等基本計画策定スケジュール」について、平成29年6月の「基本計画策定」後のスケジュールについてはどうしていきますか。</p>
<p>【事務局】</p>	<p>基本計画においては、統合、小中一貫教育を進めるとなった場合においては、第1回の会議資料3-3にあるフォロー図に基づき進めていきたいと考えています。</p> <p>基本計画策定後は、基本計画をたたき台として統合等の対象校の関係者を構成メンバーとする地域協議会を立ち上げて円滑な移行に伴う諸課題を協議していき、その後に対象の地区別懇談会を開き、学校またはグループ別の懇談会などを開催することで、より具体的協議を進めていくことを考えています。予定では、平成30年度には「実施計画」を完成させていこうと考えています。</p>
<p>【会長】</p>	<p>第1回会議資料3-3については、具体的に期間を限定しているため、公開せずに口答でスケジュールの流れを説明するにとどめたいと思います。先のスケジュールに関しては、様々な意見を取り入れ修正しながら進んでいくものと思っています。</p> <p>次に、地域懇談会参加者からより多くの意見を聴取していくために何かいい考えはないか検討したいと思います。</p>
<p>【委員】</p>	<p>地域懇談会開催にあたって、現在の周知状況はどうですか。</p>
<p>【会長】</p>	<p>広報に載せているのと市のホームページで公開しています。本日の資料でチラシの案があります。</p>
<p>【事務局】</p>	<p>案ということで内容に問題がなければ今後配布していきたいと思っています。まずは各学校に協力を依頼して保護者に渡るように配布していきたいと思っています。他にも当委員の方で会合等がある場合にご協力いただければ、配布したいと思います。他に配布方法等ご意見ありましたらお聞かせいただ</p>

	けるとありがたいです。
【委員】	保育園にも配布できれば良いと思います。
【委員】	子供が少ない地域や、学校に通っている生徒の保護者以外の方にも周知できるように回覧板を使うのはどうでしょうか。
【会長】	広報は様々なお知らせの中の1つですので、確かに目立たないという感じはします。回覧板は日程的に難しいでしょうか。
【事務局】	広報に載せるということで、回覧板は依頼していません。これから回覧板を回すにしても佐屋地区に関しては日程的に難しいと思います。
【委員】	体育大会や自主防災会議などで各総代に配布してもらうのは可能かと思っています。地域の集まりなどで直接配布してもらうと周知に役立つと思います。
【会長】	それでは地域一般の方に対しては、総代さんを通じて、地域の集まりの際に口コミで配布してもらう方法をとりたいと思います。
【委員】	時間的には、総代さんを通じて班長さんレベルにチラシを配布することもできるかと思っています。
【会長】	それでは、各総代に必要枚数をお渡しして配布にご協力いただくかたちにしたいと思います。 自分の知らない所で地域の学校が適正化の対象とならないよう、できるだけたくさんの方に地域懇談会に参加していただきたいので、周知にご協力をお願いいたします。
【委員】	間に合う地域に関しては、回覧板を回していただくとより細かい家庭まで周知ができると思います。
【事務局】	学校、幼稚園、保育園には必要部数をお持ちしたいと思います。総代様にはお手数をおかけしますが、必要部数をお持ちいたしますのでご協力をお願いいたします。 佐織地区については回覧をさせていただきます。その際は他地域の日時は抜いて回覧いたします。

【会長】	<p>聴取した意見や参加者アンケートの回答結果などの公表方法などはどうしていきますか。</p>
【事務局】	<p>今回の懇談会や参加者からのアンケートなどの結果については、「広報あいさい」と市のホームページでの公表を考えています。</p>
【会長】	<p>それでは、地域懇談会開催に向けて、できるだけ多くの人に参加できるように努力をしていきたいと思います。その他ご意見等ありましたらお願いします。</p>
【委員】	<p>地域懇談会の周知方法に関してですが、もっと若い親世代に直接口頭で周知するため、乳幼児をお持ちの方が通う保健センターに協力を依頼していただきたいです。センターの職員が会話の中や、教室の中で伝えていただくというインパクトがあって興味を持ってもらえると思います。</p>
【会長】	<p>この方法は可能でしょうか。</p>
【事務局】	<p>可能です。</p>
【会長】	<p>それでは、この方法も取り入れていただくということでお願いいたします。</p> <p>次に（２）小中学校適正規模・配置等に向けての議題に移ります。ここでは、適正化を考えるうえで地域の学校としてどのような将来の学校像を考えたらいのかということ協議していきたいと思います。</p> <p>前は、適正化に向けたそれぞれの委員の意見をいただきました。今回は小中学校の現状と課題及びその対策を PTA 役員アンケート集計結果も参考に、代表者に発表していただこうと思います。</p>
【委員】	<p>佐屋地区の PTA アンケートの数字だけを見ると、現状のままで良い、現段階では判断がつかないという意見が多いのですが、佐屋小や佐屋中は規模が大きいため現状のままという意見が多くなるのかなと思います。市江小や佐屋西小では別の意見もあると思います。また、規模の適正化に向けては、人数をそろえるための適正化は難しく、既存のもので形を変えるのではなく、新しい小中一貫校をつくる等しないといけないのではないかと思います。</p>

【委員】	アンケート結果を見ると危機感がなく、関心が少ないと感じられます。
【委員】	<p>永和地区でよく聞く意見は、クラブ活動の数が少ないということです。ただ、永和小と永和中は隣接しており、イベントなど合同でやっているのです。その点はメリットかなと思います。</p>
【委員】	<p>立田地区では、現在学校行事などを行う際は規模的にアットホームで異学年交流などが積極的できる為、現時点では現状のままで良いという思いがPTA アンケートで出ているのだと思います。しかし、長期視点を持つと、小学校6年間1クラスで進んでいくと子供たちの関係性が変わらず、人間関係の問題も抱えながら暮らしていかないといけないです。また、中学校のクラブ活動も数が少なく制限があるので、生徒の自己実現がしにくいという面もあります。将来の事を考えるとまずは、立田地区の小学校を一緒にすることも考えていかないといけないでしょうし、立田だけで考えるのではなく、立田と八開と一緒に考えるなどしていかないといけないのかなと思います。その際は、立田八開は南北に長いので、通学方法の検討も必要かと思えます。</p>
【委員】	<p>八開地区は現在小学校6年間1クラスです。数字を見ると八輪と開治が一緒になっても40人を超えず、中学になっても1クラスのままなのかなという状況です。それならば、今のままで、2つの学校で17人ほどのクラスに1人担任が付いた方が細やかにクラス運営できるという意見もあると思います。また、小規模校の課題を基本方針の概要版で示していますが、現場にいと、必ずしもこの課題が小規模校に当てはまると感じるわけではありません。そのため、本当にどんな学校をつくりたいのかをしっかりと見据えていかないといけないと思います。</p> <p>地域懇談会で色々な意見が出るかと思いますが、PTA アンケートの数字を見ると、八開地区は学校の統廃合は嫌だが小中一貫校は良いという雰囲気があるのかなと感じます。</p> <p>やはり、根本的に教育とは、学校とは何かを考えていかないといけないと思います。運動会では種目に出て、委員会の仕事をして、常に走り回っている状況ですが、これも一つの勉強としていい機会かなとも思います。今の子どもたちは現状で人数が少ないなりに一生懸命活動しています。だからこそ数の原理だけで考えるはいけないと思います。</p>
【委員】	<p>佐織地区につきましては、他の地区に比べて現在のところは適正な状態のため、問題意識が低いのかなと感じています。そのため地域懇談会の参加者がどれほどになるのかが問題かなと思います。</p>

<p>【会長】</p>	<p>次にお諮りしたいのは、合意形成の方法についてです。保護者については先に行った PTA アンケートをベースに地域懇談会での意見を反映する方法が良いと思います。学校や園についてはそれぞれの集まりや園長会校長会などの機会に、どのような意見があるかをこの協議会に反映していただく。地域住民の方については地域懇談会によりどのような考えを持っているのかを探っていくということで、基本的には進んでいきますが、もっとたくさん声を拾う必要があるということになれば、アンケートを考えていくということにします。まずは、それぞれの立場での情報収集と協議会での意見交換が基本姿勢にしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>前回もご意見ありましたが、大人の意見のみで進めていくのは問題があるのではないかとということで、実際に通っている子供たちの意見をどのように拾っていくべきかということです。小学校では児童会、中学校では生徒会で話題にしてもらう等、子供たちの意見を拾っていく方法を今後の課題にしたいと思います。アンケートを行うにしても質問項目の設定がむずかしいと思いますし、結果の集約と結果をどのように反映していくのかという問題もあります。子供たちの意見をどう拾っていくかを次回以降で案などいただけるとありがたいです。</p> <p>続きまして、次回協議会の開催日時についてお諮りします。</p> <p>(次回日程の調整)</p>
<p>【会長】</p>	<p>それでは、次回協議会は翌年の平成28年1月27日(水)の午前10時からとさせていただきます。</p> <p>次回の協議会は地域懇談会が終了していますので、地域懇談会を受けて、学校像や合意形成の方法について等の協議を進めていきます。また、基本計画の素案策定に向けての基本的な考えについても協議できればと考えています。</p> <p>最後に、各地域懇談会への参加委員の確認です。</p>
<p>【事務局】</p>	<p>各委員に対しまして、地域懇談会の依頼状を送付いたしますので、ご確認ください。</p>
<p>【会長】</p>	<p>「第3回愛西市立小中学校適正規模等検討協議会」を終了いたします。</p>